



# チャレンジ! チャレンジ活動

学校・地域環境保全コース

高松市立古高松南小学校

4年団

古高松南小学校4年生118名によるグループです。児童は明るく元気で、何事にも積極的に取り組みます。地域にある久米池や新川の自然を昔のようにきれいにするため、みんなで力を合わせてがんばっています。

## 目標

地域の自然を守るために、わたしたちにできることから始めよう。

## 指標

- 新川の清掃活動において、ごみ袋(45L)20袋以上のごみを集める。
- 久米池の水をきれいにするためにEMだんごを500個以上作り、久米池に入れる。
- EM液をペットボトル(2L)50本以上作り、身近な水の汚れをとるなど、生活の中で活用する。

## 活動の様子

### 1 活動に自主的・積極的にかかわるために

- ・ 校外学習や地域の方からのお話を聞いて、めあてを立てたよ

5月の校外学習で新川河川敷を探検した際に、川の水の汚れやごみの量に驚き、「美しい新川の姿を取り戻したい」という思いをもった。そして6月に地域の自然環境を守る活動をしている方から、久米池の昔の写真と現在の写真を比較しながら話を聞くことで、実際に池の現状を見てみたいという思いをもった。その際に水をきれいにする働きをもつEM菌の働きについての話も聞き、EMだんご作りに興味をもった。そして自分たちも力を合わせて、地域の人たちと一緒に地域の環境改善に取り組みたいという思いを強くした。

- ・ EM菌の正体を調べて、だんご作りをしたよ

図鑑やインターネットでEM菌の働きについて調べ、EM菌が水質を改善する仕組みや、その力の大きさについて知ることができた。そして、9月に地域の方たちと一緒にEMだんご作りに取り組んだ。1人10個以上も作り、合計1,200個以上のEMだんごを作り上げた。熟成する10月に久米池に投入するという見通しを立てたうえで、投入前の汚れと投入後の変化を知るための方法等、さらに自分が知りたいことをグループで協力しながら調べを進めていった。



### 2 活動を広げるために

- ・ 4年生が全校生に呼びかけて「校区すっきり活動(新川大クリーン作戦)」をしたよ

5月の新川河川敷探検で川に捨てられたごみの量の多さに気付いて以来、自分たちで少しずつごみ拾いを進めてはいたものの、あまりのごみの多さに「全校生の力を借りてみんなで力を合わせて取り組みたい」という思いをもった。そこで10月に地域の環境を守るための活動として、「校区すっきり活動(新川大クリーン作戦)」を全校生に提案した。4年生から全校生に「木材や木の葉など自然に分解できるものは拾わず、空き缶やビニル袋など自然では分解できないごみだけを拾うこと」「拾ったごみは分別し、リサイクルすること」などを伝えた。その結果、不燃ごみ9袋、可燃ごみ8袋、資源ごみ1袋の計18袋ものごみを拾うことができた。

また2月にはみなみ学習発表会で、これまで自分たちがしてきたことを保護者に向けて発表するとともに、環境保全に向けた協力を呼びかけた。

- ・ EM液をつかって身近な自然をきれいにするよ

EM菌の働きを調べた際に、だんご以外に糖蜜を入れた活性液も水をきれいにするために効果があるということを知り、EM活性液作りにも取り組み、1人1~2本に加え、ポリタンク2杯半の液を作成した。液を汚れた水に入れるだけで水質が改善されるという手軽な環境改善方法ゆえに、身近な環境改善に役立てたいと思っているところであるが、現在熟成中である。

### <本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

水や環境を守るために新川や久米池の自然などのすばらしさや問題点をしっかりと調べ、自分たちにできることを進んで取り組んだ。また、生活の中で取り組めることを、全校生や家庭に協力を呼びかけて活動を広げられた。

## 目標の達成度

- ごみ集め→ごみ袋(45L) 18袋(達成率90%)
  - EMだんご→500個作成・投入(達成率100%)
  - EM液→ペットボトル(2L)200本+ポリタンク(45L)2.5個(達成率500%)
- (平成30年1月末現在)